



学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を ～1日1ミリ～」

山田小学校通信No.13

令和8年7月16日

校長 吉田憲一

1 授業紹介⑧2年算数、タブレットで進度の確認と選択を！

7月14日、尾方先生と2年生が、算数「かさ（水などの量）」の研究授業を行いました。2年生の子どもたちも、授業でよくタブレットを活用しています。今回はスプレッドシートというソフトを活用して自分は今どこまで進んでいるかを確認し、次はどの問題にどう取り組むかを、入力して学習を進めていました。また、答えが分かった後に、立って考えを説明し合う姿もありました。子供たちは、先生から示された、次の3つの到達基準に応じて、主体的に学びを進めていました。



- 答えが分かる
- ◎計算の仕方を説明できる
- ㊦色々なかさの計算ができる

2 授業紹介⑨3年社会、複線型の学び方が成長中

7月14日、永田あかり先生と3年生が、「栗まんじゅう工場の良さが伝わるポスターを書こう」というめあてで社会の研究授業を行いました。校内研修のキーワードは、「複線型の授業」です。3年生は、次の3つの学び方を自己決定して、主体的に学びを進めていました。

- ① ポスターのタイトルを6つの「キーワード」から選ぶ
- ② 誰と学ぶかを4つから選ぶ
- ③ 何を使って学ぶかを3つから選ぶ

複線型の授業を始めたばかりで、現在「学び方」がスパイラル的に成長しています。吸収力が高い3年生です。



3 授業紹介⑩5年道徳、「深い学び」には教師の介入が必須！

7月15日、橋本先生と5年生が、道徳「共有しちゃえ！」の研究授業を行いました。教材は、なかよし3人組の女の子の1人が、自分たちのダンス動画をチャットにあげるというお話です。タブレットの「キャンバの付箋紙ツール」を活用して、複線型の授業を行いました。3人の立場に分かれて、各発問への自分の考えを付箋紙ツールに打ち込みました。ここで共有して終わりならば、「深い学び」にはなりません。しかし、先生は、この共有する場面で、次の2つの「教師の介入」を行いました。



- ① ゆさぶり発問 ②意図的指名

これによって、子供たちは、「ん！」「え！」「どうだろう。」「でもなあ。」と考えを更新し始めました。授業のテンポや子供の発言の内容も充実しており、45分があつという間に過ぎるワクワクした授業でした。

4 HPの7月の他の記事も是非！

- ① 7/3：第2回PTA、保護者の参加率等から家庭教育・地域教育の有難さを！
- ② 7/8：国語力総動員の新聞、校長室のドアに掲示！
- ③ 7/9：認知症サポーター、4年生が「思いやる力」高める
- ④ 7/9：クラブ活動、異年齢集団で自主的・実践的に！
- ⑤ 7/13：漢字・計算大会、授業は「新知」、復習は「既知」！
- ⑥ 7/14：校長による道徳の授業スタート、「学ぶ雰囲気」と「発表力」大合格！



山田小HPへ

45日間の夏休みです。たくさん体験し、たくさん遊び、そして、たくさん勉強（復習）ができるよう、家庭や地域でよろしく願いいたします。

9月1日、職員全員で、成長した165名の子供たちを待っています。